

事業の背景・目的

光市の一部地域において定着したアルゼンチンアリを対象に、一斉防除を基本とする防除対策を強化するとともに、モニタリング調査による生息状況を踏まえた効果的・効率的な防除を推進することにより、個体数の減少及び生息範囲の縮小を図る。

事業の内容

事業① 一斉防除

公有地及び宅地へのベイト剤設置に加え公有地については液体殺虫剤の散布を3回実施した。



事業② モニタリング調査

ベイトトラップ法による223地点の継続調査を行った。



事業③ 普及啓発・協力要請

地域住民に対してモニタリング調査結果等を記載したチラシを配布した。

得られた成果

- ・地域の生息状況について詳細に把握することができたため、今後の活動に役立つデータをとることができた。
- ・住民の積極的な活動への参加により、アルゼンチンアリ防除に係る意識啓発に繋がった。
- ・防除作業等を通じて、地域住民等との協力関係を確認し、今後の継続的な活動の体制を強固にすることができた。
- ・モニタリング調査の結果、アルゼンチンアリの減少傾向が確認できたものの、単年度のデータでは状況を正確に把握することはできないため、継続的に取り組む必要がある。

